

特開平10-124431 (1998.5.15) 特願平8-278288 (1996.10.21) 株式会社野村総合研究所

IPC G06F 13/00 12/00

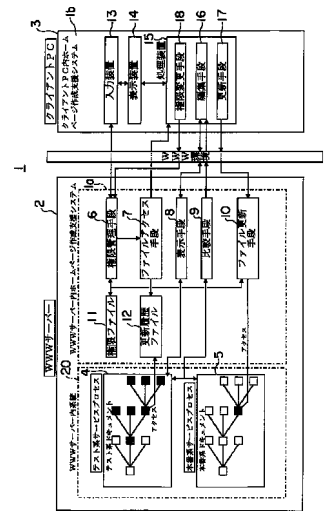
真下 竜実

ホームページ作成支援システム

審査請求 未請求 請求項の数 5 (全 11頁)

【課題】WWWサーバーによって試作したホームページを容易に表示させられ、多数人がホームページを作成する環境下でホームページの作成を支援するホームページ作成支援システムを提供する。

【解決手段】本番系サービスプロセス5と、テスト系サービスプロセス4とを起動したWWWサーバー2と、WWWサーバー2にWWW環境下で接続されたクライアントPC3とを有するホームページ作成支援システム1において、WWWサーバー2内にWWWサーバー内ホームページ作成支援システム1aを構築し、クライアントPC3内に、クライアントPC内ホームページ作成支援システム1bを構築し、WWWサーバー内ホームページ作成支援システム1aに、ファイルに対するユーザーのアクセス権限を付与する権限管理手段6と、各ユーザーごとにアクセス権限を記録した権限ファイル11と、ファイルにアクセスするファイルアクセス手段7と、を備えた。



特開平10-275125 (1998.10.13) 特願平9-81081 (1997.3.31) 株式会社野村総合研究所

IPC G06F 13/00

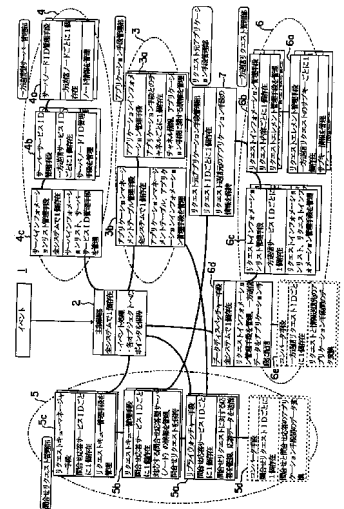
斎藤 倫彦

多数のコンピュータが参加する情報分配応答システム

審査請求 未請求 請求項の数 33 (全 24頁)

【課題】ネットワーク環境の変化を許容し、かつ、統一かつ簡単なリクエストによって、ネットワークに接続されたコンピュータの能力を最大限利用した処理結果を得られる情報分配応答システムを提供する。

【解決手段】コアノード1に、アプリケーション手段管理部3と、一方送信型サーバと一方送信サービスとを管理する一方送信型サーバ管理部4と、所定の情報処理とその応答を要求する問合せリクエストを管理する問合せリクエスト管理部5と、所定の情報の送信を要求する一方送信リクエストを管理する一方送信リクエスト管理部6と、一方送信リクエストと問合せリクエストの送信元アプリケーション手段を、リクエストIDごとに管理するリクエスト元アプリケーション手段管理部7と、サーバと前記クライアント間の情報送信とリクエストとを仲介し、イベントの処理を前記各管理部に振り分ける主制御部2と、を備えた。



特開2002-189857 (2002.7.5) 特願2000-388364 (2000.12.21) 株式会社野村総合研究所

IPC G06F 17/60

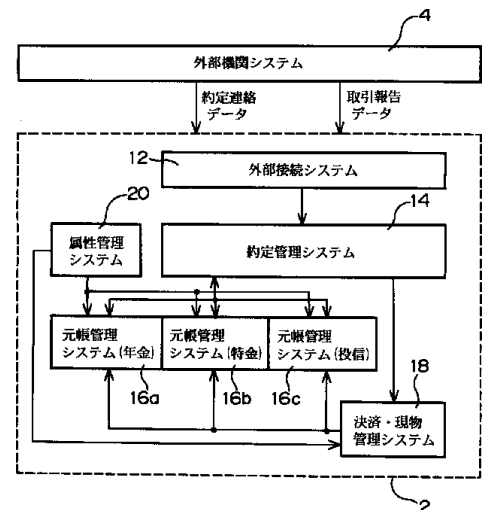
上妻 英三

信託財産の有価証券管理システム

審査請求 有 請求項の数 5 (全 6頁)

【課題】有価証券の約定成立日から受渡日までの期間を短縮に対応することができる信託財産の有価証券管理システムを提供することである。

【解決手段】約定連絡データと取引報告データの照合を行う約定管理システム14、有価証券の銘柄別の元帳管理を行う元帳管理システム16a、16b、16c及び有価証券の現物残高の管理・決済の管理を行う決済・現物管理システム20を備えて構成される信託財産の有価証券管理システムにおいて、約定管理システムは、約定連絡データと取引報告データの照合が終了した場合に、元帳管理システム及び決済・現物管理システムのそれぞれに対して直接、取引データの引渡しを行うことを特徴とする。

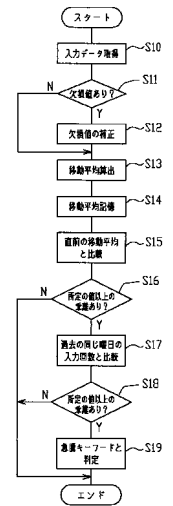


特開2003-196301 (2003.7.11) 特願2001-399566 (2001.12.28) 株式会社野村総合研究所  
IPC G06F 17/30 二村 修、三室 克哉、須藤 英介  
キーワード分析システム

審査請求 有 請求項の数 8 (全 13頁)

【課題】消費者により入力されたキーワードを分析することによりマーケティング支援のための情報を得るキーワード分析システムを提供する。

【解決手段】消費者システム 8 a、8 b、8 c を介して Webサーバ 6 に入力されたキーワード及びそのキーワードの入力回数を取得して (ステップ S 10)、その日に取得された入力回数を含めて移動平均を算出する (ステップ S 13)。ステップ S 13 において算出された最新の移動平均と、その日を含まない前日までの所定期間の入力回数に基づいて算出された直前の移動平均とを比較し (ステップ S 15)、最新の移動平均が直前の移動平均に対して所定の割合以上増加している場合には (ステップ S 16)、その日の入力回数と 1 週間前のその日と同じ曜日における入力回数とを比較する (ステップ S 17)。そして、その日の入力回数が 1 週間前の入力回数に対して所定の割合以上増加している場合には急騰キーワードと判定する (ステップ S 19)。

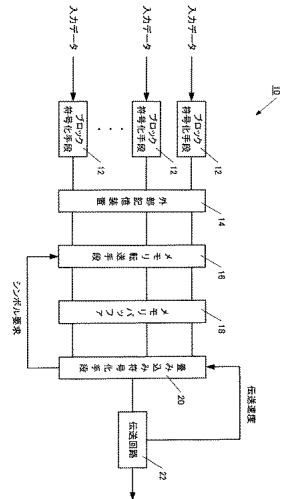


特開2004-320650 (2004.11.11) 特願2003-114797 (2003.04.18) 株式会社野村総合研究所  
IPC H03M 13/23 H03M 13/05 館野 修二、寺岡 正也  
符号化装置、復号化装置、符号化プログラム及び復号化プログラム

審査請求 未請求 請求項の数 8 (全 10頁)

【要約】【課題】メモリサイズに制約のある環境下においても、任意のブロックサイズの符号化シンボルを積み込み符号化することが可能な装置の提供。

【解決手段】入力データをブロック毎に符号化し、生成された符号化シンボルを外部記憶装置 14 に蓄積する手段 12 と、積み込み符号化に必要な符号化シンボルを、外部記憶装置 14 からメモリバッファ 18 に転送する手段 16 と、メモリバッファ 18 内に配置された符号化シンボルを積み込み符号化する手段 20 とを備えた符号化装置 10。



特開2004-334576 (2004.11.25) 特願2003-130368 (2003.05.08) 株式会社野村総合研究所  
IPC G06F 13/00 G05B 23/02 H04L 29/14 島田 政行、松本 好弘、石井 信一郎  
統合監視システム

審査請求 未請求 請求項の数 4 (全 11頁)

【要約】【課題】複数システムを統合的に監視するときに、監視を行う者に対して、それぞれの者が必要とする情報を適切に提供する。

【解決手段】統合監視システム 1 は、監視対象システム 2 a から第 1 の電子情報、および監視対象システム 2 b から第 2 の電子情報を受信するメッセージ受信部 12 と、第 1 および第 2 の電子情報を、共通ルール記憶部 16 に記憶されている共通ルールに基づいて処理をして、第 3 の電子情報を入力する共通処理部 111 と、一つの第 3 電子情報をコピーして、複数の第 3 の電子情報を入力する分配処理部 112 と、複数の第 3 の電子情報のそれぞれに対して、グループ別ルール記憶部 15 に記憶されている互いに異なるグループ別ルールを適用して処理をするグループ別処理部 113 と、グループ別処理後の電子情報を、グループ別に出力する表示制御部 13 とを備える。

